

経営比較分析表（令和5年度決算）

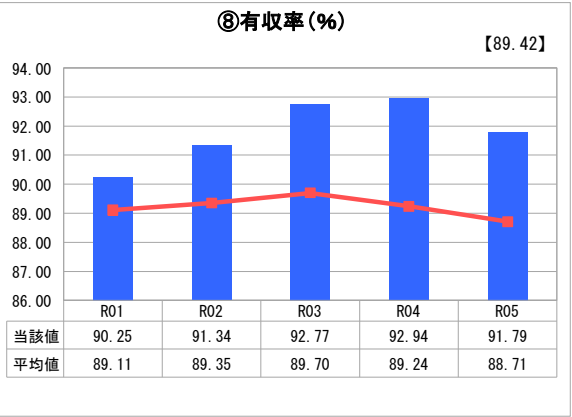
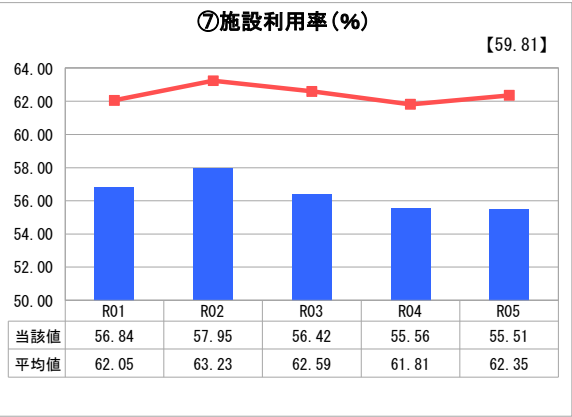
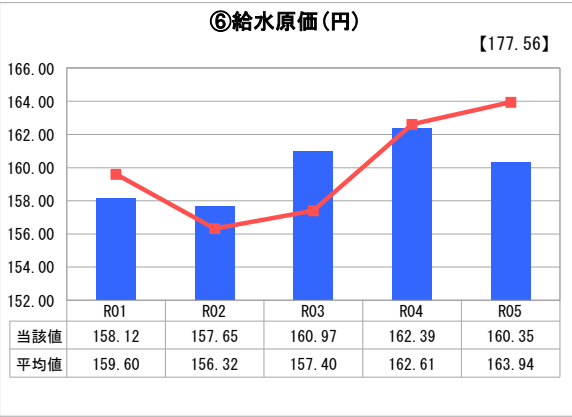
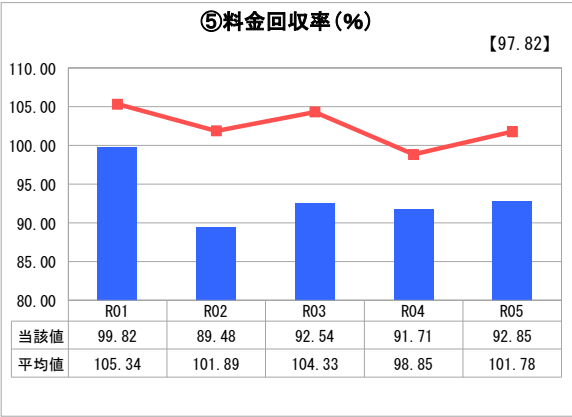
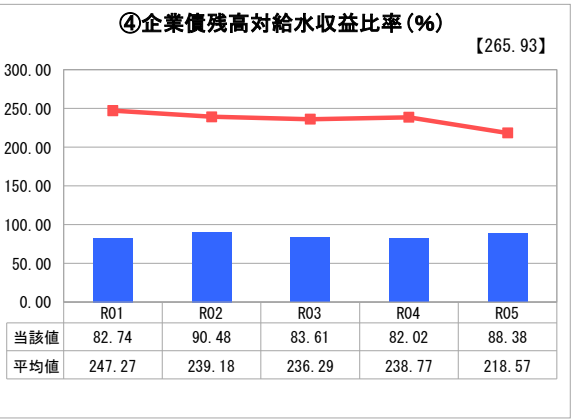
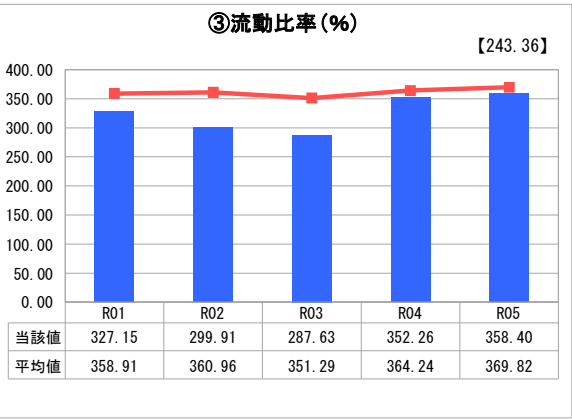
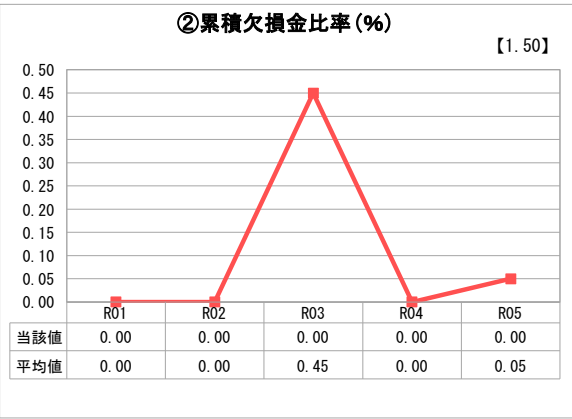
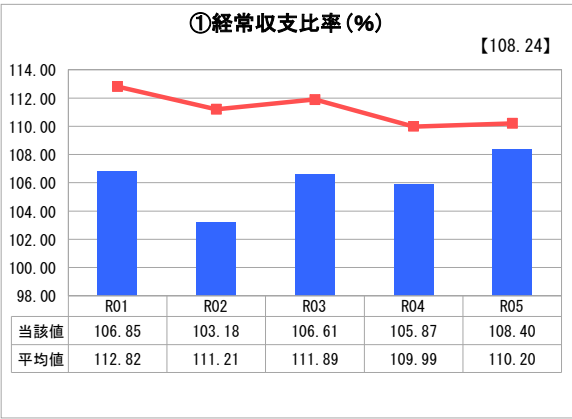
埼玉県 鴻巣市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	86.28	99.94	3,058	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
117,582	67.44	1,743.51
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
117,505	62.44	1,881.89

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超え収支は黒字となっております。加入金など収益が増加したこと、さらに前年度と比較し、委託料や電力料の高騰が落ち着きをみせて動力費など費用が減少したことにより、前年度と比較しても上がっています。

②累積欠損比率は長期にわたって0%であり、本市の水道事業は安定した運営ができているものと考えられます。

③流動比率は例年100%を大きく上回っており、短期的な債務に対する支払能力を有しています。

④企業債残高対給水収益比率は企業債の発行を抑制してきた時期があったことから現在でも低い水準となっています。

⑤料金回収率は、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の影響を受ける市民生活等の支援として行った基本料金免除の影響により、100%を大きく下回っています。

⑥給水原価は近年上昇傾向にありましたが、前年度に比べ下がり、類似団体よりも低い値となりました。これは委託料や動力費など経常費用が減少したためです。引き続き、計画的に管路の更新を行い、適切な維持管理や業務の効率化による費用削減に努めます。

⑦施設利用率は類似団体を大きく下回っており、ダウンサイジングなど施設能力の適正化について、今後検討していく必要があります。

⑧有収率は類似団体を上回り、90%を超える水準となっております。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体より、高い値となっています。

②管路経年化率については、例年、類似団体平均を下回っておりますが、増加傾向にあります。

③管路更新率については、例年、類似団体平均を下回っていましたが、令和5年度においては布設替工事を優先的に進めたことなどから、前年に比べ増加し、類似団体と比較しても高い値となりました。施設全体の減価償却率は高くなっており、浄水場施設・設備等の老朽化も進んでいると考えられますが、耐用年数経過後も適正な維持管理による延命化を図るとともに、経営状況を踏まえた上で適正な投資を進めていきます。

全体総括

経営の健全性・効率性に係る指標から、財務状況については、概ね健全な状況にあると言えますが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰の影響を受ける市民生活等の支援として行った基本料金免除の影響から料金回収率が100%を下回っています。これは近年の特殊な事情によるものですが、人口減少や節水機器の普及により、給水収益は減少しています。収益が減少すると施設の維持管理や更新に必要な資金が不足し、結果としてサービスの質が低下する恐れがあります。そのため、計画的な更新を実施して事業費の抑制・平準化を図ることや、水需要に見合った施設規模の適正化、適切な維持管理による延命化など、効率的な運営が必要になります。水道事業を取り巻く環境は厳しさを増していますが、今後も健全で安定した運営が継続できるよう、中長期的な視点に立ち、課題の解決に努めてまいります。

2. 老朽化の状況

